

日本海沿岸東北自動車道 荒川胎内IC～神林岩船港IC 平成22年3月28日(日)に開通 ～インターチェンジ名称が決まりました～

現在、新潟国道事務所と羽越河川国道事務所では、日本海沿岸東北自動車道 荒川～朝日間の早期供用に向け工事を進めています。この度、荒川胎内IC～神林岩船港IC間(延長:7.1km)が平成22年3月28日(日)に開通することになりました。

神林岩船港ICは、地域活性化IC制度により村上市で整備した追加ICです。今回の開通により、岩船港を中心とした“観光・物流の支援”や救急搬送時間の短縮等の“救命救急医療支援”など、さまざまな分野での整備効果が期待されます。

- ・開通区間 荒川胎内IC～神林岩船港ICまで(延長約7.1km)
- ・開通日 平成22年3月28日(日)
- ・開通式等 開通時間及び開通式については、後日お知らせします。
- ・その他 開通区間は、新直轄方式整備により、通行料は無料となります。



日本海沿岸東北自動車道の正式インターチェンジ名称

なお、これまで仮称であった、荒川胎内IC以北の5箇所のIC名称も右表の通りに決定しましたのでお知らせします。

仮称名	IC名称		所在地
	正式IC名		
神林IC	神林岩船港IC	かみはやしいわねこう	村上市牧目
村上IC	村上瀬波温泉IC	むらかみせなみおんせん	村上市上助測
村上第二IC	村上山辺里IC	むらかみさべり	村上市下相川
朝日第二IC	朝日三面IC	あさひみおもて	村上市大場沢
朝日IC	朝日まほろばIC	あさひまほろば	村上市猿沢

問合せ先

代表問合せ先：北陸地方整備局 新潟国道事務所：計画課長 太田 太一(内線261) 電話 025-244-2159(代表)
北陸地方整備局 羽越河川国道事務所：工務第二課長 北村 一成(内線411) 電話 0254-62-3211(代表)
村上市役所 都市整備部：部長 五十嵐 孝次 電話 0254-53-2111(代表)

開通区間(荒川胎内IC～神林岩船港IC)の概要

平成22年3月28日に日本海沿岸東北自動車道の荒川胎内IC～神林岩船港IC間（7.1km）が開通します。

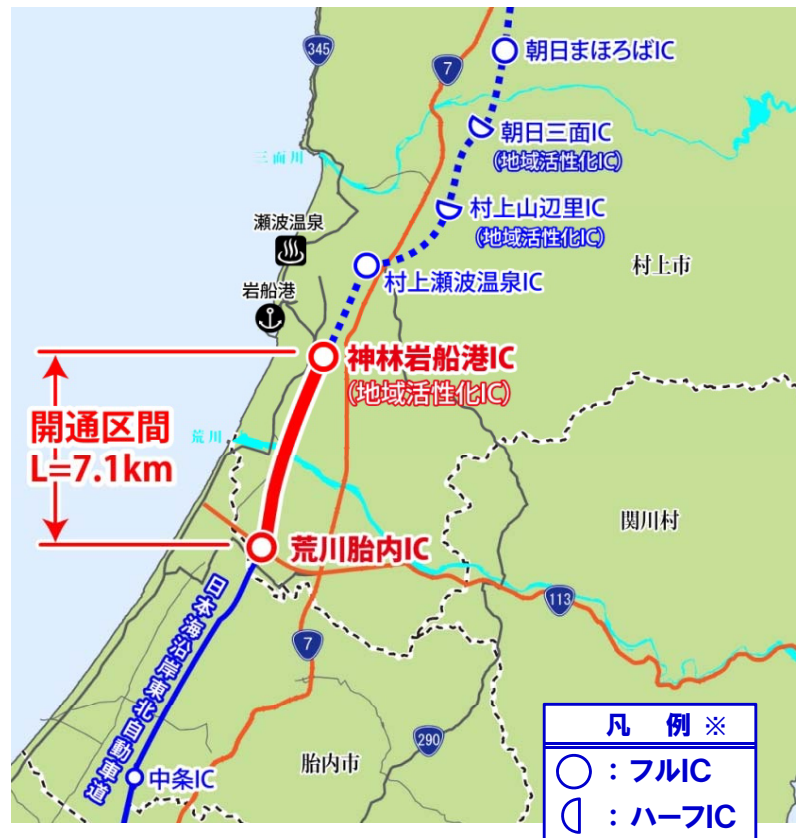
日本海沿岸東北自動車道は、新潟空港ICを起点とし、酒田市、秋田市を経て青森ICに至る延長320kmの高規格幹線道路です。今回の開通により、新潟県北地域の高速度道路ネットワークが延伸し、様々な整備効果が期待されます。

○位置図



※ フルIC…上下線に対して全て乗り降りすることが出来る構造
 ハーフIC…片方向からの入口と出口のみある構造

○開通区間詳細図



凡例※	
○	: フルIC
◐	: ハーフIC

荒川胎内IC～神林岩船港ICの概要

- 車線数 : 2車線 (暫定)
- 設計速度 : 100km/h
- 設計基準 : 第一種第二級
- 事業の経緯 :
 - H 08. 12 整備計画決定 (中条～村上間)
 - H 10. 12 施行命令 (荒川～朝日間)
 - H 11. 02 路線発表 (荒川～朝日間)
 - H 18. 02 新直轄方式への移行 (第2回国幹会議)
 - H 21. 06 地域活性化IC連結許可

荒川胎内IC～神林岩船港IC間の開通による整備効果①

県北地域の観光地までのアクセスがスムーズになり、観光地の振興に貢献!!

日本海沿岸東北自動車道が延伸することにより、県北地域に広がる豊富な観光地（温泉・城下町・景勝地など）へのアクセスがスムーズになるため、観光地の振興への寄与が期待されます。

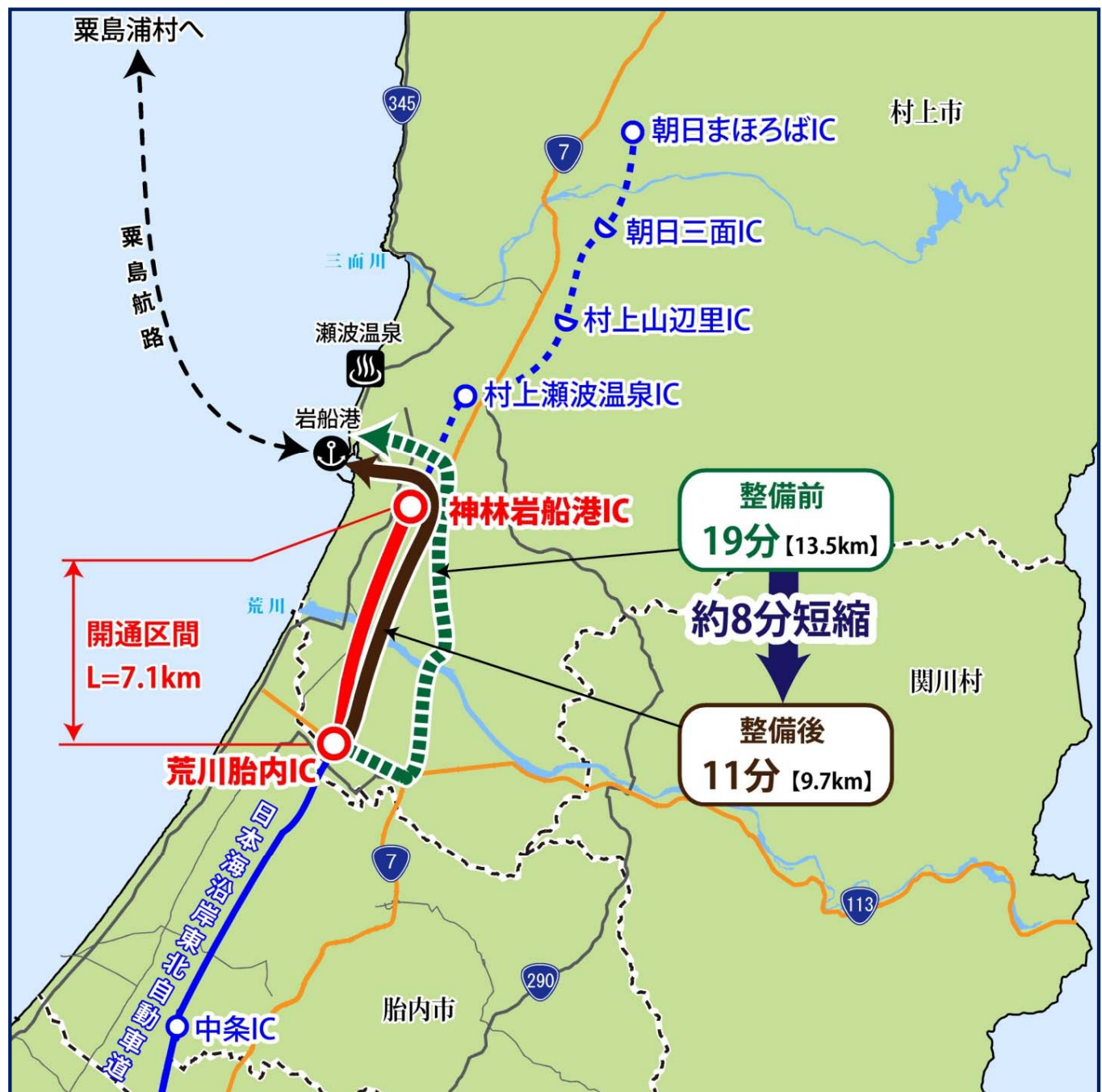


荒川胎内IC～神林岩船港IC間の開通による整備効果②

岩船港へのアクセスがスムーズになるため、効率的な物流を支援!!

神林岩船港IC周辺には、自然豊かな粟島(粟島浦村)へ唯一アクセスできるフェリー乗場となる岩船港(平成12年5月に特定地域振興重要港湾に指定)があります。岩船港は、粟島の生活・観光を支える粟島航路の他に、鉱産物・化学工業品を中心とした内航貿易が行われており、地域の物流拠点となっています。

荒川胎内IC～神林岩船港IC間の開通により、日本海沿岸東北自動車道から岩船港へのアクセスがスムーズになり、現在開通している荒川胎内ICからのアクセス時間と比較して、約8分短縮することから、物流の効率化が期待されます。



※荒川胎内ICから岩船港までを、国道7号利用と神林岩船港IC利用とで比較しています。

荒川胎内IC～神林岩船港IC間の開通による整備効果③

第三次救急医療機関への搬送時間が短縮し、県北地域の医療環境が充実!!

村上市を含む県北圏域では、県立新発田病院が高度専門医療を行う拠点となっております。特に、時間の経過が人命に関わる救急搬送においては、第3次救急医療施設*である県立新発田病院へのアクセス向上が重要になります。

荒川胎内IC～神林岩船港IC間の開通により、日本海沿岸東北自動車道経由で、神林岩船港IC周辺地区からの救急搬送時間が約6分短縮することから、救命率の向上が期待できます。



*神林岩船港IC周辺地区の起点として、村上市役所神林支所を設定し、神林支所～県立新発田病院間の短縮時間を算出

第3次救急医療施設とは？

複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者に対し、高度な医療を総合的に提供する医療機関で、新潟県では県立新発田病院の他に、新潟市民病院、長岡赤十字病院、県立中央病院の4病院が指定されています。

荒川胎内IC～神林岩船港IC間の開通による整備効果④

CO₂の排出量が削減されることによって、周辺の沿道環境が大きく改善!!

開通区間に並行して走る、国道7号や国道345号、主要地方道新潟新発田村上線の交通が日本海沿岸東北自動車道に転換し、走行速度が上がることにより、CO₂、NO_x、SPMの排出量が削減され、沿道地域の環境改善が期待されます。

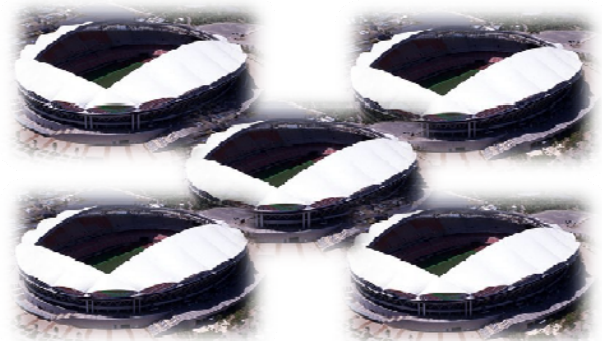
CO₂(二酸化炭素)の排出量削減効果

年間約3,700 t 削減



※CO₂吸収量は森林1ha当たり、10.6t/年に相当

ビックスワン約95個分の森林面積に相当!!



※ビックスワンの建築面積を3.67haとして計算

NO_x(窒素酸化物)の排出量削減効果

年間約22 t 削減



※NO_xは1g=523ml、大型バスは1台あたり約110m³として換算

SPM(浮遊粒子状物質)の排出量削減効果

年間約2 t 削減

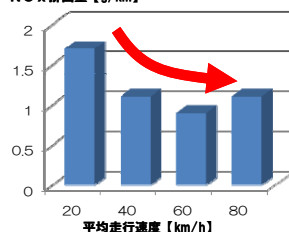


※ペットボトル1本(1L)に入るSPMを約200gとして計算

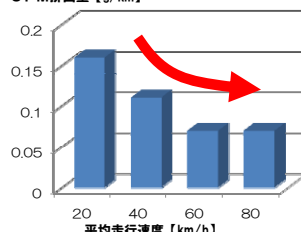
【参考】なぜ高速道路が整備されるとCO₂などが削減されるの??

自動車から出る窒素化合物(NO_x)、浮遊粒子状物質(SPM)、及び二酸化炭素(CO₂)の排出量は、自動車の走行速度と大きな関わりがあります。高速道路での走行は、速度の向上により、様々な大気汚染物質の排出量が減少し、地球環境の保全に貢献できることとなります。

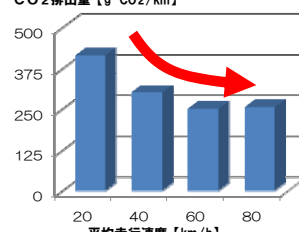
NO_x排出量 [g/km]



SPM排出量 [g/km]



CO₂排出量 [g-CO₂/km]



出典：国土交通省HP